

玄海原子力発電所見学研修報告書

3E 小川太誠

私たち佐世保高専インターアクトクラブは令和2年1月18日(土)に玄海原子力発電所の見学会を実施しました。まずは今回の見学会を計画、支援頂いた佐世保北ロータリークラブの皆様にお礼を申し上げたいと思います。この様な大変貴重な機会に恵まれ改めてインターアクトクラブに参加して良かったと感じた次第です。今回見学させて頂いた玄海原子力発電所には、私が唐津市出身ということもあり小学生時代に何度か訪れた経験があったのですが、幼かった当時と比べ知識や教養を身に着けた今では感じ方に大きな違いがありました。正直に言うと小学生の私は原子力発電所というものに興味がありませんでした。家族で訪れたことも何度かあったのですが、その目的は玄海原発の敷地内にある遊具やイベントがほとんどでした。しかしながら現在は佐世保高専の電気電子工学科に所属する身であるため発電技術について興味がありますし、福島第一原発事故のこともあり安全対策にも当然関心がありました。そういう中で見学してみて印象的だった内容を2点上げたいと思います。

1つは徹底された安全対策です。玄海原発では五つの段階に応じた対策をとっており、福島原発事故の問題点をよく抑えた安全対策だと思いました。私の実家は玄海原発で事故が起きた場合に避難しなければならない地区なので今回の見学で随分安心できました。2点目は原子力発電のメリットです。原子力発電といえば実際に国内で事故が起きていることもありマイナスな印象が一般的だと思います。しかしながらデメリットばかりでなくメリットもあるわけです。主なメリットとしては安定して大量の電力を供給可能で、発電量当たりの燃料単価が安いので経済性が高いことや、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が極めて少ない事などがあります。このようにメリットもある中で、危険性の高さはほかの発電方法とは比べものにならないレベルで、放射性廃棄物についての問題などもあります。しかし見学を通して、それでも私は原子力発電が日本には必要であると思いました。現在の原発以外の発電システムだけでは将来的には電力が不足することになりますし、水力発電や火力発電については環境や資源への問題もあり安易にこればかりに依存するのは危険な事のように感じます。そのため今回見学した玄海原発のように十分な安全対策がなされているのであれば原子力発電に賛成というのが見学を終えた私の意見です。

今回の見学では今まで行ったことがなかった奥まで見学することができ、さらに知見を広げることができました。このような機会を大切に今後もインターアクトクラブとして楽しく活動していきたいと思います。